

しろはく活動記録

古地図と城の泉 第54号

正徳2年1712年萩城修理絵図新発見

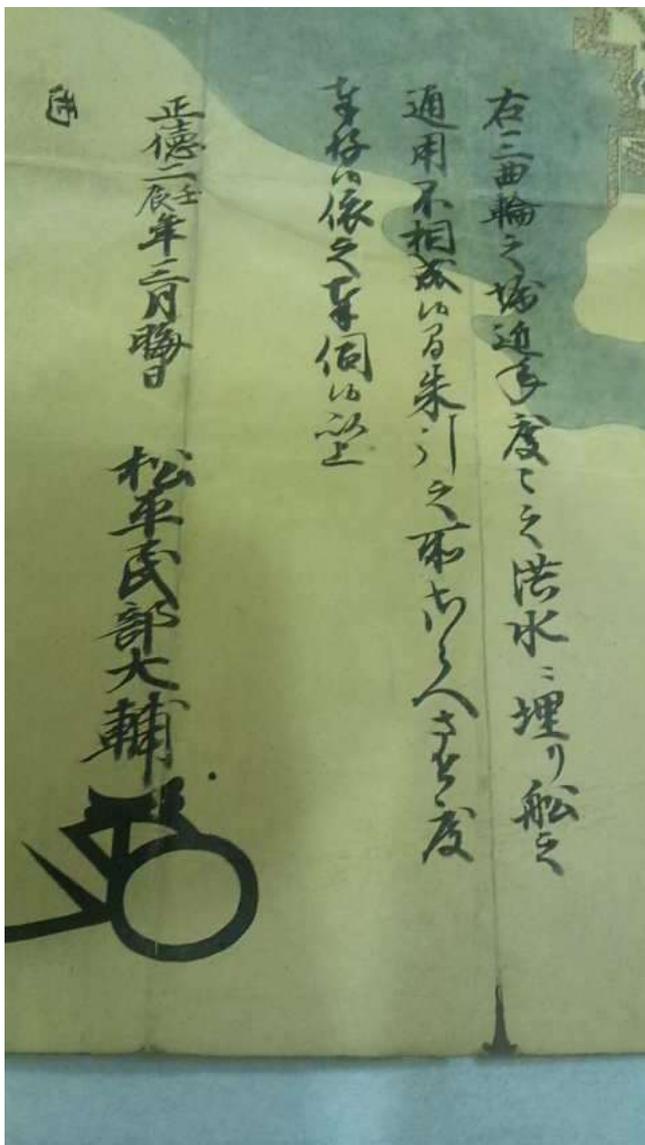
鶴城地名撰城郭墓碑 米沢城絵図帳

日本城郭協会お城EXPO陸軍省城絵図公開

平成29年11月15日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査 博物館事業報告

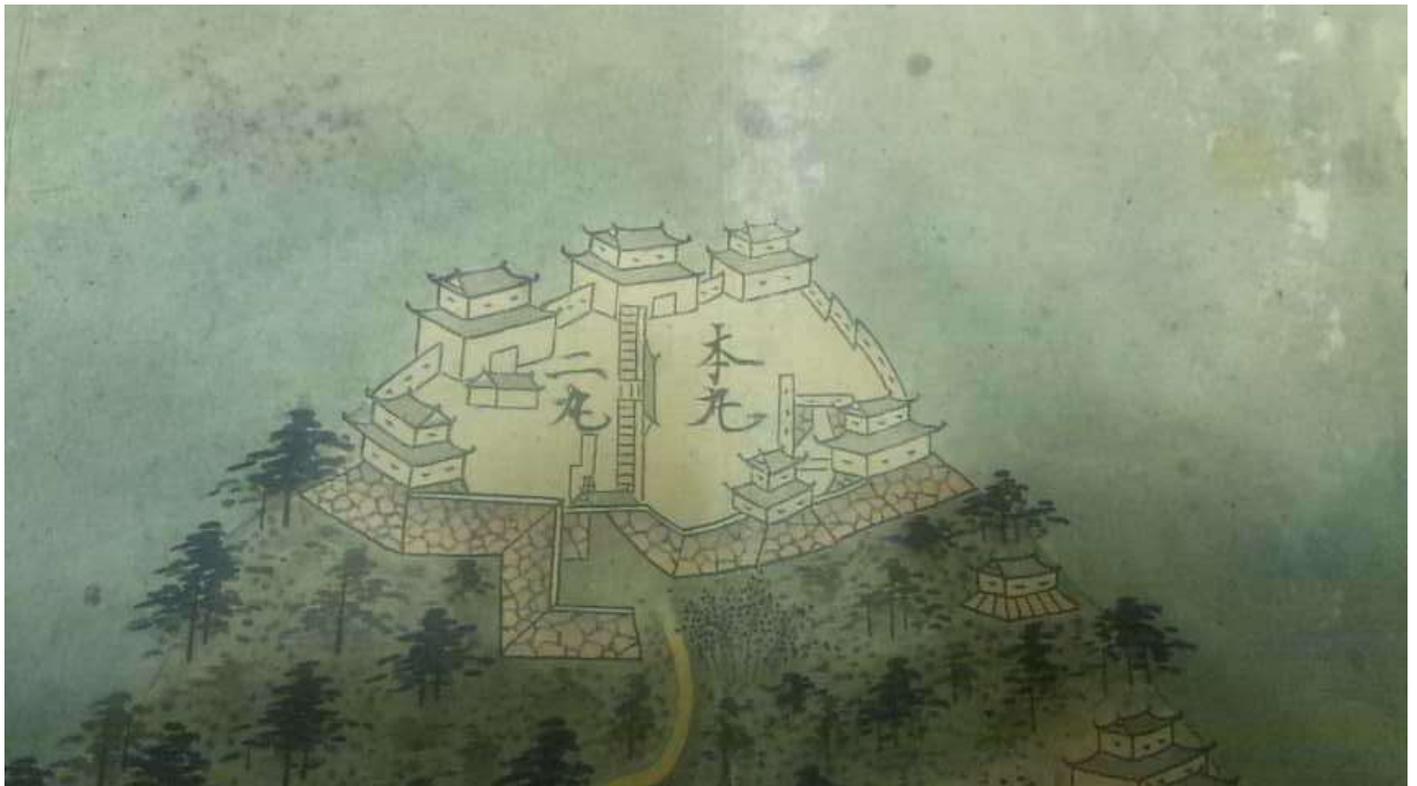


1・正徳2年1712年萩城修理絵図松平民部大輔花押



正徳2年の毛利萩藩主は5代毛利吉元で、先代吉広に嗣子がいないため、支藩長府から迎えられた。本絵図と同一絵図は萩市史第1巻458pによれば、山口県文書館に所蔵されている。絵図の内容はほぼ同一であるが、文書館所蔵絵図には花押がなく、藩の控図と思われる。本図には『正徳二壬辰年三月晦日 松平民部大輔花押』とあり、幕府提出絵図の一部と思われる。市史は正徳二年の状

況について、萩城外堀の浚渫を幕府に申請中の処、本日認可されるとある。萩城外堀は城内と城下を区画する防衛上重要な意味を持ち、北に新堀開鑿により土砂が堆積したとある。絵図には朱引きで『此堀埋り申候』とあり、『右三曲輪之堀近年度々之洪水二埋り船之通用不相成候間朱引之（以下略）』とある。山頂の本丸、二の丸、山麓の天守曲輪、二曲輪、三曲輪、侍屋敷について、天守、一八基の二重櫓、枅形門を克明に描く。城外に町屋と侍屋敷、街道が記される。ただ、絵図の大きさは一般の修理絵図が80cm四方や100x150cmと比較的大きく詳細であるのに対し、本絵図は34x43cm小型であり、記載は詳細であるものの、どこか簡略という感は否めない。修理絵図としては石垣修復といった大仕事でないための簡略化か、修理規定の時代差か、堀浚えという作業の故か、堀浚えによる幕府への許可願は比較的少ないのでは？何れ類例を検討したい。



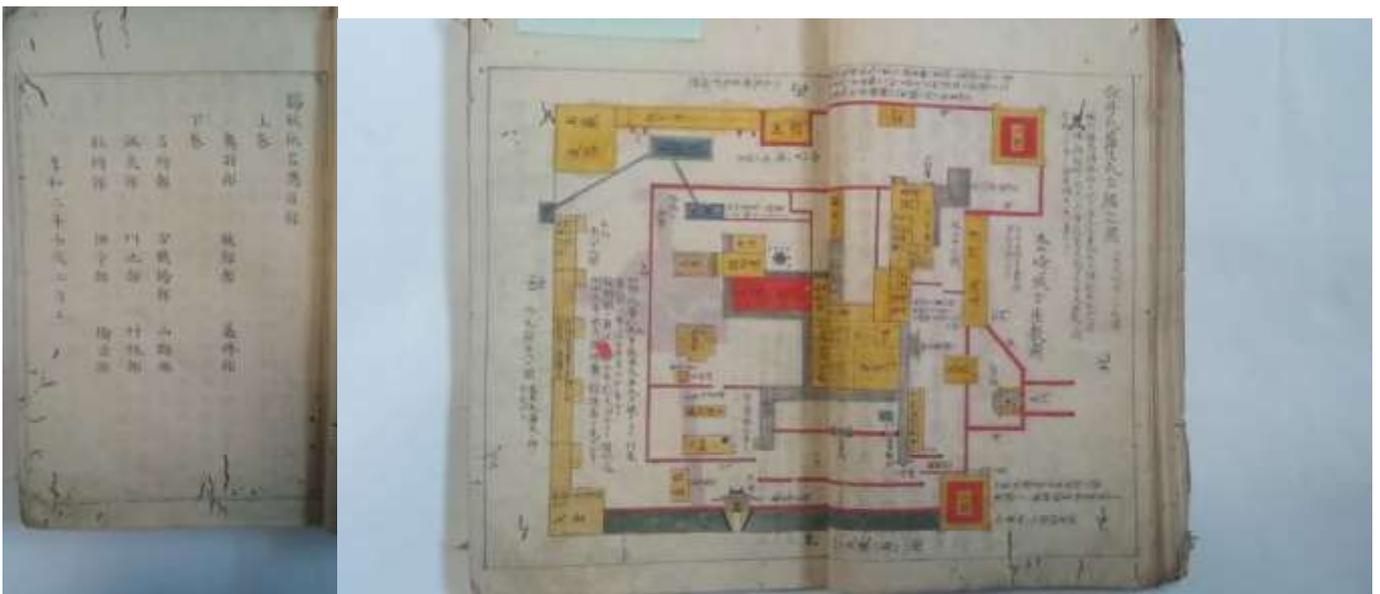
山頂曲輪と山麓天守曲輪、二の曲輪



三曲輪と侍屋敷、朱引きされた外堀（此堀埋り申候）とあり

修理絵図は正保城絵図、陸軍省城絵図ともに、公文書絵図であり、その信頼性は極めて高い。修理絵図が残されていれば、その城郭の江戸期の編年をきわめて正確に知ることができる。現在富原文庫が所蔵する修理絵図は明暦3年鶴岡城写、文化元年亀崎城、嘉永元年沼津城、刊記不明刈谷城、寛文2年小松城近代写、元文2年姫路城、明和9年伊賀上野城、享保16年田辺城、天保12年篠山城、刊記無松江城？、と今回の正徳2年萩城。以上11城郭となる。

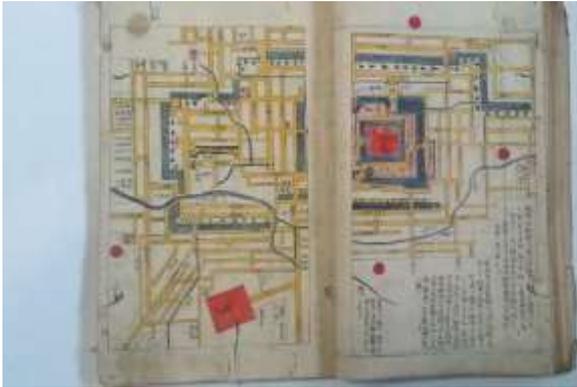
2・鶴城地名撰城郭墓碑 米澤臣小幡忠明 享保2年1717年 鶴城と云う名を持つ城郭は各地にあるが、ここでは米沢城を指している。



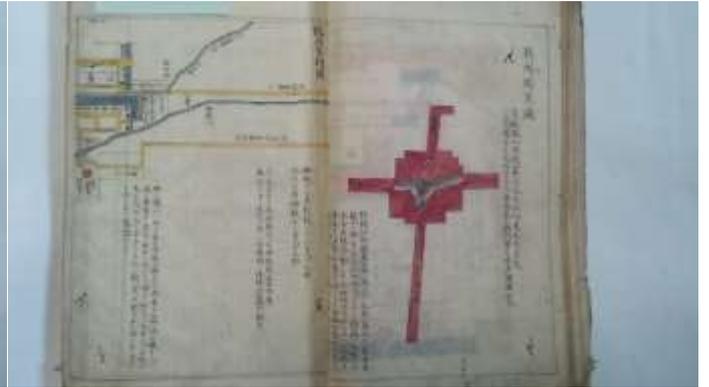
鶴城地名撰目録 **松崎城古座敷図(米沢城)**

上巻奥羽部・城郭部・墓碑部・下巻名所部・古戦場部等 奥羽全図彩色絵図4P・壺碑図・米沢図2P彩色絵図・城郭部舞鶴城(米沢城)・長井氏蒲生氏古堀之図松崎城古屋敷図2P彩色絵図・

鶴城鶴翼図彩色絵図・鶴府市朝図 3 P (米沢城下町絵図) 彩色絵図・伊達氏霞古城霞城絵図 2 P 鳥瞰彩色絵図 (霞城とは通常山形城の別名であるが、平城の山形城と異なり、描かれているのは仙台北城のような山城である。)・御館山・二色峯墟・高島城・小国城・小坂館・轟館・北村館・後藤屋鋪・新田館・鮎貝館・荒砥城・戸内館・宮内館以下 2 3 館・前田慶次郎墓・直江兼続墓以下略



鶴府市朝図(米沢城)



鶴城鶴翼図



伊達氏霞城図



中心部拡大

3・岡山城の古絵葉書調査

岡山在住の研究者渡辺泰多氏より、著作『写真集岡山城』をお送りいただいた。書名からは思いが及ばないが、中は貴重な古写真集である。これまでも、ご要望により、国宝福山城誌等奇観本をお分けしている。御年80歳とのこと、依頼事項は岡山城西ノ丸西手櫓の古写真を探してほしいとのこと。手元に岡山城関連古絵葉書は500枚程度であるが、渡辺さんは数万枚とのこと驚きである。岡山城の絵はがきは御承知のように大半、後樂園から見た天守と、天守周辺である。工事中とか気になる絵葉書もあるが、時間がないためスルーし、明治初期撮影とされる4枚と目的の西手櫓の画像を提供し、研究資料として、岡山城と広島城文献の在庫目録を提供することとした。なお、約10点の岡山城各櫓、城門の古写真複製もあったが、画像が不鮮明で元は絵葉書のようなので割愛した。高田さんや崎田兄弟の業績は見る時間がなかったので、ご了解ください。





目安橋より見たる天守閣及大納戸櫓明治初年 内下馬より見たる本丸の南側明治初年



内下馬より見たる本丸の南側明治初年

内下馬より見たる本丸の南側明治初年

尚、整理済み城郭絵葉書5万枚以外に未整理の城郭絵葉書1万枚は手つかずである。これまで、要望により、山梨県立考古博物館に甲府城、上田市教育委員会に上田城絵葉書を提供それぞれ報告書に掲載されている。こちらでは2000年11月30日『戦前絵葉書に見る織豊城郭中世城郭の景観』で130枚の倭城や注目されることのない山城等を紹介した。

今回の調査により、西手櫓絵葉書は長年探求されているものであり、大変喜ばれた。譲渡を熱望されたが、一応まだ全国の城郭絵葉書の集成途上であり、残念いただいた。同様絵葉書を御持ちであれば、連絡してあげていただきたい。

広島城・岡山城文献在庫 2017年10月25日

城郭文庫

500円岡山の城と城跡址文庫本昭和43年186P・岡山城と城下町文庫本昭和52年183P・岡山城その歴史と物語昭和42年102P・お城ってなあに?2003年14P・1000円岡山城ペーパークラフト・蘇る岡山城下町1996年111P・歴史群像岡山城1996年143P・岡山城と後楽園平成11年度特別展68P・岡山城絵図江戸末期平成7年・歴史散歩岡山の城1995年237P・岡山築城400年あいらぶ城下町1996年211P・岡山戦国合戦史2000年196P・安芸広島城昭和48年15P・広島城外郭櫓跡発掘調査概報1980年48P・ふるさとひろしま広島城下絵図他昭和56年68P・日清戦争図絵風俗画報81号表紙石版広島城明治27年・歴史群像広島城1995年143P・描かれた城郭絵巻絵図に見る城平成16年29P・広島城刊・2000円岡山城内堀平成10年73P・岡山城郭絵図明和3年複製・特別名勝岡山後楽園復元工事中間報告書昭和36年60P・劇画岡山城築城四〇〇年編上下2冊1996年・岡山城物語上下2冊1991年・芸州広島城一規模構造昭和47年55P・広島城四百年平成2年273P・広島城外堀跡発掘調査1997年65P・広島城関連遺跡発掘調査報告1995年66P・史跡広島城跡二ノ丸第一次発掘調査報告同第二次2冊1988年9年・広島城の50年平成2

0年77P・広島城展示資料目録昭和54年171P・城壁特集広島城昭和46年36P・福島正則の20年平成24年64P・広島城絵図集成平成25年67P・広島城壊滅平成22年97P・広島城郷土館参考資料第1部～3部昭和50年度3冊・浅野文庫諸国古城之図の世界平成26年96P広島城刊・3000円岡山後楽園史跡等保存整備事業2009年72P・建築雑誌502号岡山城に就いて・岡山城二ノ丸跡1991年87P・後楽園誌平面図昭和14年50P・縮景園史昭和59年202P・新広島城下町昭和49年330P・広島城関連調査報告書城郭移築建造物平成9年60P・広島城郷土館参考資料第1部～5部昭和50年度5冊4000円天瀬遺跡岡山城外堀跡2001年137P・5000円岡山城三之曲輪跡2002年210P・岡山城二ノ丸跡2003年256P・広島城下周辺の巻昭和43年436P・広島城外堀跡1999年182P・6000円史跡岡山城跡本丸下の段発掘調査報告2001年362P・史跡岡山城跡本丸中の段発掘調査報告1997年359P・8000円岡山県史蹟名勝天然記念物調査報告第九岡山県における江戸時代の城郭調査報告昭和7年表紙傷み・岡山城史昭和58年686P・12000円藩政時代広島城明細絵図昭和9年12絵図・16000円広島城下町絵図集成154P+大型附図4枚平成2年

4・沼津市文化財センターによる国史跡興国寺城総合調査協力予定

所蔵目録による絵図閲覧はこちらの調査が送れるため基本お断りしているが、浅野文庫や津軽家文書、城築規範も調査済みとのことで、調査のスケジュールもあり、ご協力する事とした。

陸軍省城絵図の内、**沼津城有形表分表間積縮図・元沼津城二の丸住居絵図・駿河沼津城修理之覚**嘉永元年九月水野出羽守修理絵図・**古城図**紀州藩中江川又作景寿寛政八年1796年近藤孝矩写文政十三年写1830年2種各36城絵図の内、**沼津城、奥国寺城絵図各2枚計4枚**現実の城とかい離する兵法上の写・**奥谷寺古城絵図**各曲輪、堀の規模を記入・**駿東郡沼津城絵図**初期の縄張と思われる、3層天守記入、天守台今は有高石垣也五六間計但堀ぎわ皆面取を置也とある。
・**駿河国誌所収90沼津城・89興国寺城**、沼津城は先の駿東郡沼津城と同一絵図、興国寺城も浅野文庫系の兵法上の絵図

昨日、静岡県立美術館井伊直虎展貸出し資料井伊直孝書状や井伊城絵図を浜松市博物館さんとNHKが返却に来られた、この処、静岡と縁がある。当該、井伊直孝書状を含む井伊大明神家の大量の古記録も年内に井伊谷に戻すべく検討いただいている。

5・公益財団法人日本城郭協会『お城EXPO』12月22日～24日陸軍省城絵図公開

井上宗和さんから小和田さんと続く城郭研究会の草分け、日本城郭協会の本年度お城EXPOで陸軍省城絵図を公開します。概要と紹介文は下記のとおりです。絵図については戎光祥出版さんの絵図集を参照してください。富原文庫は設立前、昭和42年頃からの日本城郭協会会員でもあります。詳細は日本城郭協会まで。03-6417-9703

日時 12月22日13時～21時・23日10時～18時・24日10時～17時

場所 横浜パシフィコ横浜会議センター

講演会、トークショー、お城シアター、観光情報、城下町グッズ物販、お城グッズコレクション展等多彩です。

入場料1800円前売1500円（ローソン・チケットぴあ）講演会1テーマ1000円

紹介文

『陸軍省城絵図について』

今回、日本城郭協会お城EXPO2017に於いて、陸軍省城絵図が公開されることになりました。この絵図群は、明治5年陸軍省築造局によって、全国の城郭の存続と廃却を決定するために、陸軍省将校を全国に派遣し、305府県当時の行政組織が調査した、国家規模の調査であり、類似の事例は正保城絵図のみです。絵図は幕末の城跡の姿と維新の政変の有様を実像として記録し、そ

の後の都市化、度重なる戦災、大規模な災害による多くの変遷を経た城跡の原風景を定点で見ることが出来ます。城跡と共に絵図もまた、数奇な運命をたどりました。発見されたのは、わずか8年前、2009年11月遠くフランスでした。東京にあれば、関東大震災、東京大空襲等度重なる首都災禍によって、軍機関本部の焼失と共にその存在が忘れられた幻の絵図群です。今回の絵図19点は田丸城絵図が今年、徳川美術館の「天下人の城展」に展示されたほかは、すべて、初公開となります。改変された城跡の原状を確認し、地域の研究に役立てていただければと思います。なお、絵図の全容については、戎光祥出版の『富原文庫蔵陸軍省城絵図』を参照してください。

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

代表 富原道晴』

公開絵図予定 企画段階ですので、変更あるかもしれません。

田丸城・佐貫城・角牟礼城・白石城・米沢城・本庄城・大和郡山城・犬山城・丸岡城・松尾城・松峰城・松代城・長島城・岡城・苗木城・岩村城・田辺城・中津城・平城

6・高槻城築城四〇〇年記念特別展『天下泰平と高槻城』図録に陸軍省城絵図掲載

特別展は10月7日から12月3日、今城塚古代歴史館、しろあと歴史館、講演会、シンポジウム等詳細は072-673-3987しろあと歴史館へ。陸軍省城絵図はパネル展示です。

7・明治32年の駿府城兵営時代本丸二の丸石版地図『静陵之光』現れる。

静岡駿府城刑務所という仮題で明治32年の石版地図が現れた。御承知の通り、明治29年駿府城は静岡市による日清戦争後の連隊誘致のため、陸軍省に献納された。静岡市の調査（大御所徳川家康の城と町—駿府城関連資料調査報告書—）では29年10月25日から二ノ丸以内が削平され、連隊駐屯地となったとある。この連隊時代の駿府城地図はこれまでの調査では発見されていない。購入するつもりで対応したが、おそらく地元の識者によって、高額に競り落とされた。手元にあるのは公開された画像のみである。「非売品 明治三十二年七月十三日印刷同年同月十六日発行 静岡□□□□」とあり、最後の三文字が画像が切れて判読できない。おそらく兵営の内部機関による、兵営内見取図と思われる。年代的には明治29年10月から開始された工事が終わり、明治32年7月、3年弱で完成した兵営の姿と思われる。購入されたのが公共機関であれば、何れ公開されると思われる。地図の大きさは32 x 43 cm、石版印刷である。明治7年の陸軍の実測図と比較すると、本丸堀は完全に埋められたばかりで、本丸地域に建築は見られない。二の丸堀は明瞭に描かれていないが、虎口の橋が見られないことから埋め立てられたものと思われる。二ノ丸には兵舎と植栽が描かれ、周囲の石垣と土塁が残されている。二の丸御門、東御門、北御門、西御門は枳形門の外のみ残存、東喰い違い御門は撤去、御水門は内枳形が残る。城内は当時の建築の配置が明瞭で或る。二の丸の外周における喰い違い、折は明治7年測量図と変わらない。所蔵品でないため、画像の公開は控えるが、この時代を知る唯一の資料ではないかと思われる。今の城郭研究は廃城後の推移については、あまり言及されていないが注目に値する。

新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

1・古絵図・古地図

中国公路管運路里程示意图第1分冊～第4分冊 人民交通出版社 1984年

実地踏査福山市街地図附府中町鞆町 昭和3年 松浦茂

最新調査松本市全図 松本書籍商組合 1万分I 袋付 昭和2年

明石市街全図 最新ポケット用 錦明館特製 12000分I 引札 戦前刊記無

鶴岡市全図 戦前刊記無

鶴岡市6000分I 富士波出版社

鹿児島県初三郎鳥瞰図 昭和6年

大日本道中細見絵図 丁子屋平兵衛菊屋幸三郎 木版 刊記無

軽井沢高原観光地図 昭和31年 軽井沢会 鳥瞰図

甲府市市勢一覧・甲府市全図 昭和7年 12000分I

銅版パリ市街地図 DEPT DE LA SEINE 1833年 色刷

銅版日本地図 1850年 色刷 EMPIRE OF JAPAN 長崎港附図

銅版欧版地図中東からアジア、中国、日本 刊記無 樺太、蝦夷不鮮明 幕末

銅版欧版地図東ヨーロッパトルコ、ギリシャ、ユーゴスラビア 刊記無 幕末

銅版欧版地図インド、東シナ、インドネシア、フィリピン 刊記無 幕末

東京五千分I地図索引・40落合地図見本 内山地図模型株式会社 刊記無

昭和調査番地入横浜市全図 大正2年 松信大助

大日本職業別明細図埼玉県大里郡全図・熊谷市・深谷町 昭和10年 東京交通社

八王子近傍図・八王子都市計画街路網図 刊記無

熊本市街地図 昭和17年 土橋兼良

大日本改正東京全図神田区十五葉内第貳号実形二千四百分一 西川光通編製 西川光穂蔵版 明治十一年 袋付

大日本管轄分地図全50枚中7枚欠43枚 大正2年 東京市・大阪市・京都市・九州（沖縄・福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本・佐賀・長崎）・四国（愛媛・徳島・高知）香川欠・中国（山口・島根・広島・岡山）鳥取欠・近畿（京都・三重・和歌山）兵庫・滋賀・奈良・大坂欠・中部（福井・石川・富山・新潟・山梨・長野・静岡・愛知・岐阜）・関東（茨城・栃木・群馬・千葉・埼玉・東京・神奈川）・東北（福島・山形・岩手・宮城・秋田・青森）・北海道欠

实用大日本地図 清水亮三編輯 明治23年 銅板色刷表紙付

一宝齋国盛江戸鳥瞰図 木版色刷 手前隅田川・江戸城下町・江戸城・遠景富士山

大坂御定宿引札・大坂絵図 木版色刷 東が上に大坂城、下側、西に安治川河口、波止場、左、北に梅田ステーション、中ノ島、中央に大坂道頓堀上大和橋松屋与兵衛（金比羅諸湊蒸気出船所御定宿）

近江国郡分ノ図 彩色絵図 元禄14年 東インド会社のv o cマークに似た朱印有

丹波国郡分ノ図 彩色絵図 東インド会社のv o cマークに似た朱印有

淀山崎男山絵図 辰正月三日申刻出火同五日過鎮火伏見鳥羽淀八幡等の村々焼失家大凡五千百十棟土蔵九十二ヶ所寺院十ヶ所神社三ヶ所程 肉筆

上市柏原下市天誅組鎮庄諸藩陣所配置絵図 天誅組陣取居・井伊下陣・松平甲斐守陣所・片桐陣屋・藤堂陣場

万国地図 日本及び世界各地16絵図 彩色絵図帳

土地利用図 東北地方 20万分I 福島・仙台・村上・酒田・新庄・新潟計6枚

土地利用図 25000分I 仙台21種21枚・福島4種4枚・新庄3種3枚計28枚

5万分I地形図 東北44枚 昭和50年頃

20万分I地形図 東北地方 盛岡・秋田・八戸・弘前計4枚

25000分I地形図 昭和6年仙台3種28枚・昭和23年仙台2種19枚計47枚

25000分I地形図 昭和49年～平成2年沖縄那覇与論島30種30枚

25000分 I 地形図 昭和50年頃 東北地方 仙台39枚・酒田5枚・村上7枚・盛岡1枚計52枚
前橋市全図。前橋市勢要覽 昭和13年 自治制発布50周年記念
最新熊本市街地図 昭和13年 大淵善吉 袋付
実地踏測番地入早わかり熊本市街地図 昭和3年 土橋南江
久留米市街図 大正10年 大淵善吉
大牟田市街新地図 大正10年 大淵善吉
佐賀県唐津町市街案内地図 大正15年 牧川徳次郎 著名店案内
新版下総成田銚子香取常陸鹿島息栖略図 木版 木屋又助 江戸城から霞ヶ浦迄
江戸御見付略図 享保4年 森屋治兵衛 色刷
最新水戸市全図 昭和14年 高橋彦次郎 袋付
天津地図 大正9年昭和5年 中東石印局 天津日本租界福島街
新版漢口市街詳図 昭和14年 10000分 I 馬場日良 袋付
上海附近要図 昭和7年 小林又七
九州九ヶ国之絵図 複製 文化10年 文松堂開板
最新刊地番入仙台市地図 昭和14年 盛文館
満州旅行案内・大連市略図・奉天略図・新京略図 満州日報社 非売品 大阪商船内無償配布 時刻表・ホテル案内・満州国図

尾道市街明細地図・御調郡向島及近村地図 明治45年 宮地三保松
京都近傍図西南部 1万分 I 大正4年 陸地測量部
地図文献 地名と風土・地形図読み方と作業・江戸古地図散歩・江戸切絵図散歩・地図の手引き・新版地形図の本・天気図と気象の本・地図の見方と使い方・頭の中の地図・日本列島地図の旅・地図つれづれ草・指導のための地図の理解・地形図の読方と其利用・地図独解入門・地図との対話・地図の歴史日本編・世界編・地図は現地でない・都市図の歴史日本編・地図の歴史・地図はさそう・都市地図の旅・古地図研究第1～3、5～9輯（創刊号から36号、49から108号合冊）・慶応義塾図書館蔵古地図展・

2・古典籍・古記録

信濃国埴科郡坂木村検地清野帳 縦長11冊
下野国下都賀郡平井村耕地山岳接界立会丈量原図 明治12年 針孔入り鉛筆書き原図60図
1冊 明治11年～12年測量 立会人署名捺印
佐倉医学所通知 種痘接種に係る通知 嘉永2年1849年 木版 朱印
佐倉子育方役所通知 疱瘡流行の節貴賤小児の夭折夥し然るに近年阿蘭陀より種痘云々 嘉永2年1849年 木版 朱印
刑法義解 太田聿郎註解 全7巻7冊揃 明治14年 木版
聞書控 天保13年南町奉行水野越前守申渡歌舞伎役者海老蔵・同年異国船渡来防禦・オランダ人風説書・衣物語發湯・松平陸奥守様御家中（島津） 写本
種樹園法上 佐藤信淵 明治9年 木版
日本農学提徑中 河原田盛美 明治11年 木版
田畯年中行事全 佐藤信淵 明治10年 木版
農業三事上 津田仙 明治7年 木版 図入
遠西名医扶歇蘭度察病亀鑑 青木浩齋譯本 安政4年 木版 上下2冊揃
陸奥国岩井郡天保9年御巡見記録並延享年中御巡見御例格抜粹手記 天保9年1838年・延享年中1744～47年 村毎に古館記録15か所、大きさ、館主・伊達家臣録・御巡見方名簿、宿

泊地22か所 いわゆる古城記等の初出記録である。

青山一件記 写本 4巻36項目5冊揃 伊達家記録 萱場木工書上げ他寛延から天明頃伊達家記録

大平楽記 全10巻10冊 写本 大坂合戦記

覚人相書 天保銭五六貫文・男羽織・短筒袴挺 三人組人相

甲斐名勝誌 全5巻3冊 天明3年1783年 木版 伴希真書 荻原元克編輯

3・印刷資料

好 着物見本帖 107色 田中秀商店

好 色無限 色無地の着物現反見本 180色

4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

錦絵太平記四国征伐 羽柴筑前守秀吉公 芳虎 3枚の内右1枚

錦絵役者絵 川中島・山縣三郎兵衛市川左団次・馬場美濃守尾上菊五郎 明治31年 今井敬太郎 枚の内左1枚

錦絵影絵2枚 英山 風流きつね付

奥山儀八郎版画 明初の壺

5・軍事資料・武器武具

海術流棒術之巻秘伝書 辻喜右衛門義元花押朱印 享保19年1734年 木村次兵衛殿

支那事变国債募集チラシ 42種類75枚 昭和15年

錦絵調練大隊之図 芳藤 3枚続き 明治

文献 銃砲史研究第384号・銃砲史研究平成27年度例会資料集・同28年度例会資料集・

6・城

萩城修理絵図 別記

伊勢記・光秀騒動 写本 光秀謀叛事・蒲生籠城事・信澄自害事・光秀討死事・伊州蜂起事・国府生害事・一益上国事・家督争論事・家督評事・柴田羽柴事・信孝誕生事・信孝謀叛事・秀吉用和事・諸家発向事・貝親出張事・伊州一味事・盛信謀叛事・秀吉発向事・峰城攻之事・亀山城攻事・信孝出張事・柳瀬合戦事・勝家自害事・岐阜落城事・信孝自害事・信孝評判事・滝川没落事・信雄分領事・神戸名跡事・上庄喧嘩事

姫路漁語 全5巻1冊 酒井殿御老中役御免厩橋より姫路江所替之事並犬塚又内岡田忠蔵加増役替事附国家老川合勘解由左衛門討果之事 写本

大坂御城之図 堀柳治題 摂営秘録様の絵図特にコメントなし





錦絵補の智計赤松乃城を水責之図 玉蘭齋貞秀 3枚続き 高松城水攻めの偽装図

山本勘助兵法秘伝書 慧文社資料室 平成19年

甲陽軍鑑末書下 11行上写本 甲陽軍鑑履歴・信玄公御家風五ヶ条・下巻の上9本を収める

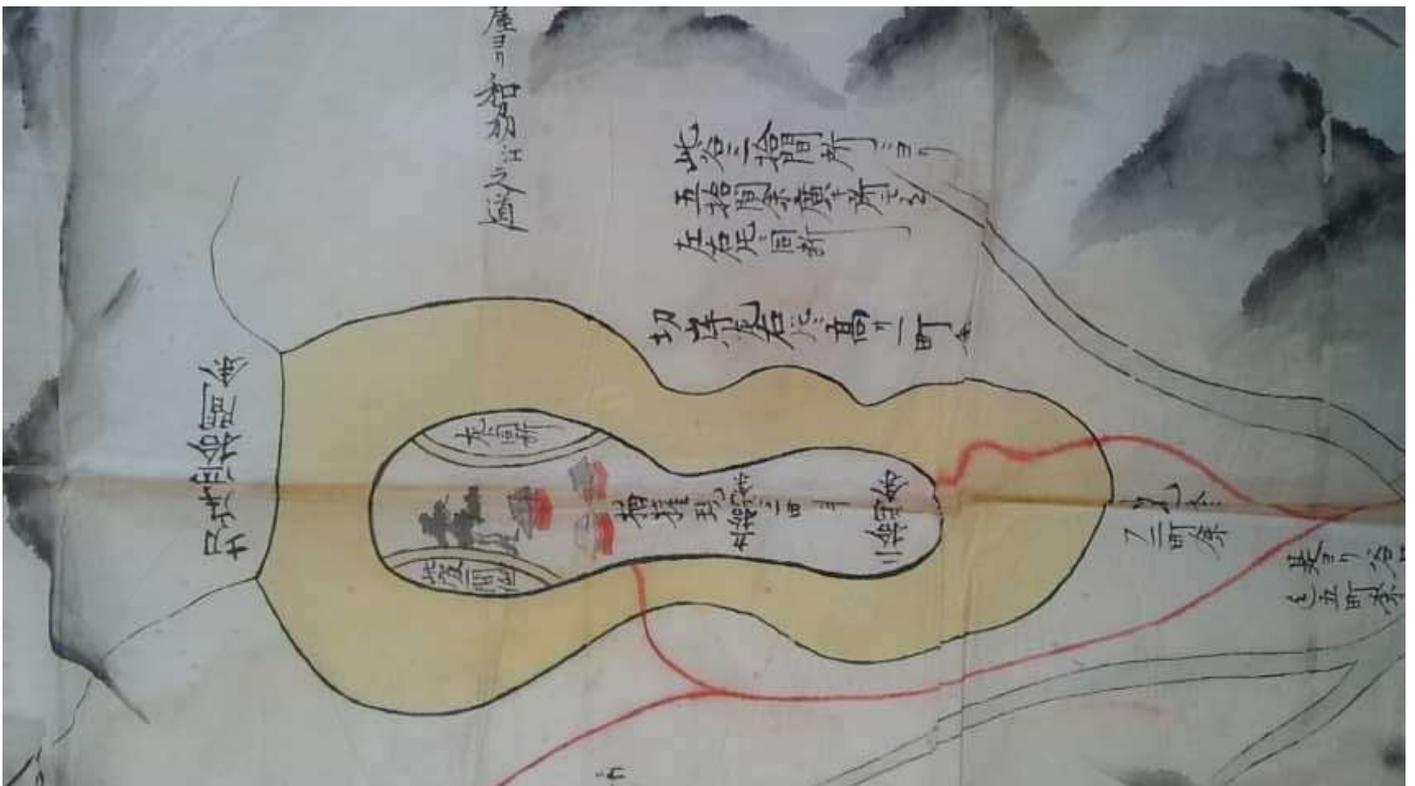
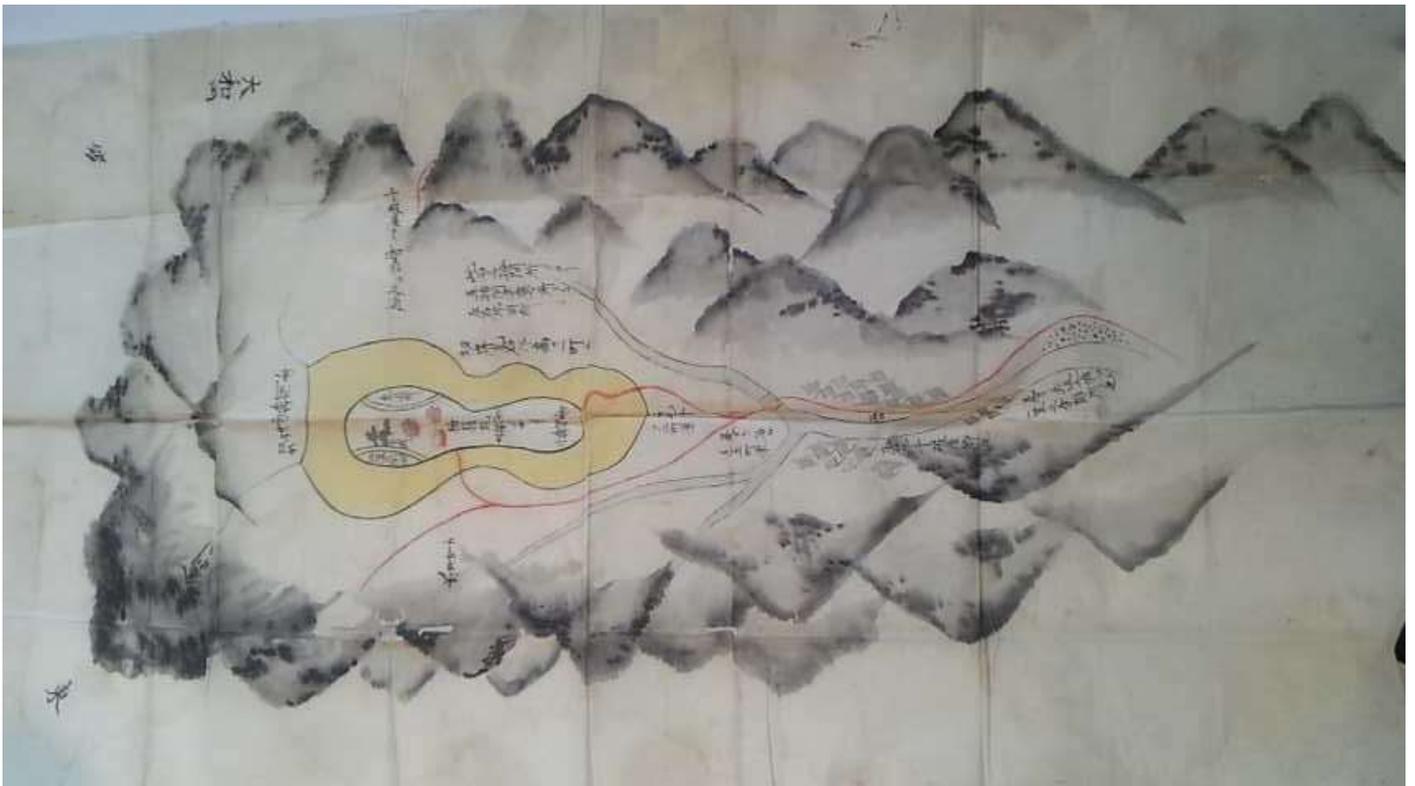
鶴城地名撰城郭墓碑 別記

戊辰二於ケル会津戦争ノ顛末 孔版印刷 約90丁に及ぶ大部の著作であるが、作者や刊記はない。明治軍部によるものかと思われる。附図第一東西両軍戦闘経過一般図・若松城要図・附図第二会津附近戦闘経過要図・附図第三若松附近戦闘経過要図 附図は大型折込色刷地図





千早城絵図 彩色絵図 本丸に楠権現、



城郭文献 享保10年米沢城下絵図昭和54年・信州新町文化財調査報告牧之島城昭和41年・井伊家と彦根城・戦国の北陸動乱と城郭・近畿の城郭IV・石川城郭跡市原市・考古学ジャーナル415阿蘇大宮司家居館と中世の豪族の居館・442城の考古学・511環濠と土塁・京都府埋蔵文化財情報53号54号信長秀吉家康の城と城下町前編同後編・江戸城障壁画の下絵・津久井城の調査1・II・IV・V・東北大学埋蔵文化財調査年報18仙台城跡二の丸第17地点の調査・金石城跡緊急発掘調査報告書1977・土浦城址発掘調査報告1989・坂戸城埋田堀確認調査1991新潟・福知山城跡1986・江戸城跡北の丸公園地区遺跡1999・葛西城址青戸御殿平成2

6年・鳥取入府400年池田光政展・織豊期城郭瓦研究の新視点・写真集岡山城渡辺泰多・赤塚城跡遺跡・城と要塞・城郭の研究・武蔵野古寺と古城と泉・日本名城100選・風雲山形城昭和39年・こんなにすごい日本の城・姫路城ガイド・建築新書二條城・日本の城と歴史昭和35年・武蔵野の城あと昭和50年・日本の古城1・II・平成24年度特別展八王子城・日本の美術154城・石川城郭跡・城郭史研究9号・12, 13号・22号・城郭第2巻3号～第5巻1号、8巻5～6号計19冊・京都仙洞御所二條桂修学院離宮御写真及実測図集、川上邦基、古建築及庭園研究会、昭和3年～5年、第1集～12集・15集・18集・24集～27集・井伊直虎と湖北の戦国時代特別講座収録集・特別史跡彦根城保存管理計画書昭和58年度・

大坂御城絵図 本丸空堀に御堂堀、本丸東に御厩曲輪御門、西に大砲蔵とある。基本摂営秘録附图か。 彩色絵図



名古屋城三の丸絵図 武家屋敷名前記入 彩色絵図

会津藩城下武家屋敷明細全図・会津武家屋敷絵地図 明治27年 加藤長四郎 複製 会津郷土研究会

絵葉書 高遠風景絵葉書（高遠公園内における靖国招魂碑・高遠五郎山及仁科五郎信盛公ノ祠・高遠公園・高遠町全景等8枚）・

購入見合わせ 江戸城内記録13行本170P程に及ぶ享保から文化文政までの細密記録であるが、編年別行事記録であり、城の構造に係るものでないため、残念した。135000円・日本伝謙信流軍学要門免許状石亀進廣12点120000円要門流は多数所蔵済み・支那城郭の概要344000円所蔵済み・静陵之光明治32年駿府城跡地図別記・駿府城絵図、江戸城西丸奥表総絵図、江戸城西丸絵図、江戸城奥表向絵図、特徴がないため見合わせ・

7・群馬県史料

8・その他

与謝野鉄幹・晶子短冊軸 軸装極美 情熱の歌人

あとがき

1・城郭文献・地図文献の購入

今回は城郭文献、地図文献の解説書の入手が目立つ。これらは業者さんの持ち込みである。個人的に書店で買う場合は必要なもの1冊ごとであるが、市場や持ち込みは一括購入となる。義理買いもあり、自然と不要な解説書類も含まれる。これらを買うことで必要なものもお持ちいただける。必要悪と言えらるが、あふれる洋本には閉口されることになる。忙しくてこれらに手を付けられないことが、必要なものを出せない原因ともいえる。いずれ、1万冊から5万冊の城郭文献は来年夏ごろにはネットに掲示したいと考えているが、アルバイトでもいないと入力に追いつかないように思います。それでも、不慣れな中、一部屋を空けて入力作業に四苦八苦している。東京に居れば、いくらでも手伝い手はいるが、ここは長野との県境、関東と言っても苦労している。

2・城絵図の悉皆調査進まず

長年手を付けられなかった城絵図所蔵目録について、50号で瞬間を利用して作成した。作成したのは別置きしてあるいわゆる手もとの資料のみである。考えてみれば、幾多の展示会協力や研究のために取り置いた資料がもどせていない。資料が出せない原因である。群馬、新潟、長野、山梨の古城絵図類は未掲載であり、兵法書の大半、別置きの額装資料、軸装資料、館内展示資料、明治以降の大量の都市地図、数万枚に及ぶ陸地測量部の地形図、水路部の海図、各流派の兵法書も大系化の必要がある、古城書上げ帳や全国の古城記、甲陽軍鑑を始めとする軍記、合戦記、古絵葉書、城郭合戦戦争錦絵、橋本興家等の城版画、さらには50年来の課題である昭和以前の城郭文献総目録の編纂、平成以降は解説書が多く、総目録ではなく研究の進展を描く資料解題が必要か。研究のための出版は歓迎するが、単に紙を汚しただけの解説書は啓蒙のためとはいえ歓迎しない。50年前は年に数冊しか城の文献は発行されず、今日のような年間1千冊以上と思われる状況は喜んでいいのであろうか。所蔵目録が作成できない理由の最大のものは時間がないことと現役城郭資料コレクターであり、増加する資料に整理のめどがつかないことである。社会正義である資料の公開も取り出し、収納という作業で大きく足をひっぱられることになる。整理と公開がいたちごっこになる。いずれ、体力と購買力、情報力の消耗により資料募集に限界が来ると思われる。個人事業の限界といえる。国立の城郭博物館ができないであろうか。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109 群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

携帯電話 090-2722-4689(しろはく)

FAX 027-315-4689(しろはく)

Eメール shirohaku@kym.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.shirohaku.com/>

ミュージアムショップ 群馬県古書籍商組合加盟

博物館資料専門店

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴
